

今年の経済情勢展望

東信経済倶楽部が講演会

東濃信用金庫の取引先でつくる「東信経済倶楽部」の新春講演会が、多治見市虎渓山町のとうしん学びの丘エールで開かれ、野村証券経済調査部チーフエコノミストの森田京平さんが「2023年経済展望：どうなる物価高と円安？」と題して講演した。

中津川市出身の森田さんを招く新春恒例の講演会



2023年の経済展望を語る森田京平さん＝多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール

で、現地とウェブを通じて約100人が参加した。森田さんは、世界レベルで政治による調停や合意形成の機能が弱まり、経済活動の効率性や予見性が低下すると指摘。今年は米国の景気後退が見込まれる一

方、日本はインバウンド需要や個人消費の増加により景気回復の歩みが続けるとの見方を示した。

一方で、2%インフレは定着せず、インフレ率は23～24年に低下。円安が一方的に進む状態からは脱した可能性が高く、「23年末に向けては、1ドル125円程度の円高・ドル安が視野に入っている」と見通した。

(箕浦由美子)